

「できる限りの支援を」

ネパール中部を襲った巨大地震の被災地で支援活動を始めよう
国際医療NGO「AMDA」（北区伊福町3）は30日、AMDAグループの菅波茂代表（68）ら4人を派遣した。到着次第、支援活動を本格化させる。ネパール出身の県立大客員研究員、シュレスタジョシ・アルチャナさん（39）も加わる。出発前に記者会見した菅波代表らは「できる限りの支援をしたい」と語った。

【五十嵐朋子】



地震だけがするなどし、ネパールの大病院に運ばれた被災者ら

AMDA提供

イレなどの物資の配布も予定しているという。インドネシアやカンボジアなどのAMDA支部やアジア各国の協力団体から医師が現地に向かっており、AMDAチームは総勢数百人規模になる見通し。

県立大看護学科で医

記者会見で「できる限りの支援を」と話す菅波茂代表（右端）やアルチャナさん（右から2人目）ら派遣チーム（北区奉還町2の国際交流センター）で



災地の映像を見ると胸がいつぱいで悲しい」と涙を浮かべ、「離れていて何もできない、調整役

AMDA 新たに代表ら4人派遣

AMDAは、地震発生翌日の26日に最初の支援チームを派遣した。トイレが使えずに衛生環境が悪化し、飲み水も不足していると

の現地からの報告を受け、今回は巡回診療に加え、飲料水や携帯ト

「家族は無事だが、被災した2013年以

という気持ちだったの

を務めたい。感染症が広がる危険があり、公衆衛生面の状況を見極めていた。

AMDA（086・252・7700）は、支援のための寄付を呼びかけている。